

第 29 回愛知県泌尿器科医会総会報告

会長：服部 良平

第 29 回愛知県泌尿器科医会総会を令和 4 年 6 月 18 日名古屋大学医学部附属病院基礎研究棟第 4 講義室にて開催しましたのでご報告いたします。

[会長挨拶]

2 年間泌尿器科医会を運営させていただきました。コロナの問題や共催企業の減少などの問題に戸惑いましたが、副会長、理事はじめ会員の方々の協力を得てなんとか医会活動を続けることができました。今回は共催企業がなく医会単独での開催となり、不手際のため会員の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びします。開業医は前立腺癌治療にどこまで対応できるかというテーマについて会員の方々にも勉強していただくことにしました。開業医でも専門性をもって前立腺癌患者に対応することも必要で、今回の企画が有意義なものになると思います。

勤務医の会費問題（勤務医部長の年会費、勤務医会員数が少ない）についてワーキング部会の中で議論を進めました。本会は開業医主体ではありますが、保険・医療連携・学術企画で勤務医会員との協力は必須であることを確認し、勤務医の年会費を一律とし、開業医の年会費を増額する改定案が提案されました。今後会員皆様のご理解が得られるかご意見を伺わせていただきたいと思えます。

コロナ禍のため会員相互の顔を突き合わせた懇親会ができませんでしたが、本年 10 月の例会では懇親会ができるよう準備しております。少しでも医会が会員の皆様に役立つように努めておりますので医会の活動にご協力をお願いいたします。

[総会]

1. 令和 3 年度会務報告（山内副会長）

理事会を 3 回開催した。

第 28 回総会：令和 3 年 6 月 19 日（土）TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅西口および WEB
ミニレクチャー『下部尿路症状に対する治療の up date』

愛知医科大学泌尿器科助教 梶川 圭史 先生

特別講演 『陰部で注意する皮膚疾患とヘルペスウイルス関連 up date』
名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学准教授
加藤 裕史 先生

第 7 4 回例会兼令和 3 年度日本医師会生涯教育講座

令和 3 年 10 月 16 日（土）TKP ガーデンシティ PREMIUM

名古屋ルーセントタワー

講演 1 『泌尿器ロボット支援手術アップデート』
藤田医科大学医学部腎泌尿器外科教授 白木 良一 先生

講演 2 『前立腺癌治療～up front 治療からの戦略～』
名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学准教授
加藤 真史 先生

第75回例会：令和4年3月26日（土）ホテルメルパルク名古屋およびWEB
2022年度診療報酬説明会

愛知県泌尿器科医会保健担当理事 坂倉 毅 先生

愛知県泌尿器科医会保健担当理事 岡村 菊夫 先生

特別講演 『あきらめるにはまだ早い！夜間頻尿』

北海道大学大学院医学研究院泌尿器科

総合地域医療システム学分野特任准教授 橋田 岳也 先生

第6回保険教育プログラム：令和3年7月10日（土）WEB

愛知県泌尿器科医会保険担当理事 坂倉 毅 先生

愛知県泌尿器科医会保険担当理事 岡村 菊夫 先生

2. 令和3年度会員動向（山内副会長）

会員数155名 A会員112名 B会員43名

入会3名：岩月正一郎先生（瑞穂区）梅田 俊先生（豊田市）上平 修先生（小牧市）

退会5名：伊藤尊一郎先生（豊川市）辻村俊策先生（春日井市）栃木宏介先生（四日市市）

成瀬克邦先生（豊橋市）村瀬達良先生（中村区）

逝去なし

3. 令和3年度会計報告（榊原副会長）

歳入は 繰越金2,901,189円、会費1,126,000円などで4,120,219円、歳出は分科会負担金、通信費、会議費などで1,390,455円

差引残高2,729,764円であった。繰越金は前期より171,425円減であった。

4. 令和3年度監査報告（伊藤監事）

令和3年度歳入、歳出決算書は適正であると認めます。

5. 令和4年度事業計画案（山内副会長）

理事会は3回予定されている。総会、例会が下記のごとく開催予定である。

第29回総会：令和4年 6月18日 名古屋大学附属病院およびWEB

第76回例会：令和4年10月15日 開催場所未定

第77回例会：令和5年 2月 開催日および場所未定

第7回保険教育プログラム 開催日および場所未定

6. 令和4年度予算案（榊原副会長）

歳入は、繰越金2,729,764円 会費 1,120,000円会員名簿広告料300,000円などで4,189,794円。

歳出は、分科会負担金936,100円、通信費350,000円、会議費350,000円などで4,189,794円を見込んでいる。

7. 役員改選について 令和4年度～

会長 服部 良平

副会長 榊原 敏文

山内 智之

学術委員会 委員長 錦見 俊徳

松川 宣久、岡田 淳志、市野 学、馬嶋 剛

保険委員会 委員長 坂倉 毅

社保委員 服部 良平、石川 清仁、上平 修

国保委員 岡村 菊夫、小島 宗門、多和田俊保

医療連携委員会 委員長	山内 智之 花井 俊典
市民公開講座担当	榊原 敏文、近藤 厚哉
ホームページ担当	千田 基宏、木村 恭祐
ミニレクチャー担当	錦見 俊徳、丸山 高広
保険教育プログラム担当	岡村 菊夫
会則等担当	小島 宗門
庶務（医会運営）	山内 智之
会計	榊原 敏文
名古屋市前立腺癌検診担当	遠山 道宣
医会諸問題相談役	早瀬 喜正 吉田 和彦
監事	花井 俊典 欄 芳郎

愛知県医師会各種委員会委員

医療安全対策委員	丸山 哲史
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員	千田 基宏
生涯教育委員	小島 宗門
社保指導委員	岡村 菊夫
健康教育委員	多和田俊保

会員皆様の審議のもと、すべての案件が承認された。

8. その他

名古屋市排せつケア相談支援事業について

名古屋市排せつケア相談支援事業には以前より愛知県泌尿器科医会の名簿を提供し支援しているが、市民からの相談件数も増加しています。今後も名古屋市は、排せつケア相談支援事業に力を入れたいと考えていることから、引き続き会員名簿を提供し同事業を支援して行くこととしますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

[報告、協議事項]

1. 庶務（医会運営）について（山内副会長）

第29回総会（集会、WEB 併用）

集会は人数制限（名）があるため、事前申込とし非会員の参加は認めない。非会員はWEBでの参加は認めるが、日医生涯教育、日本泌尿器科学会の単位付与はしない。

2. 医療安全対策委員会報告（丸山（哲）理事）

10月の例会でまとめて詳細報告予定

3. 医療安全支援センター（苦情相談センター）報告（千田理事）

特にありません。

4. 健康教育委員会報告（多和田理事）

現在コロナ禍のため、会場での講演会は行わず、WEB配信のみです。

今年度の泌尿器科は6月公開で

演題 前立腺癌に対する治療法

講師 藤田医科大学 腎泌尿器外科 准教授 高原 健先生

5. 生涯教育委員会報告（小島理事）

特にありません。

6. 社保指導委員会報告（岡村理事）

特にありません

7. 保険医委員会関連事項について（坂倉理事、岡村理事）

2022年度診療報酬改定 補足事項

（1）ロボット支援下手術関連

腹腔鏡下腎悪性手術、尿管悪性手術の追加

（2）移植関連

ABO血液型不適合間または抗リンパ球抗体陽性の同種腎移植に対する

単純血漿交換法（PEX）が保険適応

移植後抗体関連型拒絶反応に対する血漿交換法が保険適応

（3）小児関連

膀胱頸部形成術、埋没陰茎手術、陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの）保険収載

（4）間質性膀胱炎（ハンナ型）関連

ハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）保険収載

詳細はホームページ参照

8. 医療連携委員会関連事項に着いて（山内副会長）

今年4月から一宮市が電子@連絡帳の実運用を開始しました。

愛知県医療療育総合センターで電子@連絡帳とここの一とを使ったワンクリックによるオンライン診療が開始されています。

いずれどこの地域の電子@連絡帳でもオンライン診療できるようにバージョンアップされる予定です。

9. 市民公開講座関連事項について（榊原副会長、近藤理事）

令和4年度の市民公開講座は中止。

以降もコロナ感染が完全に終息するまでは中止とします。

10. ホームページ関連事項について（千田理事）

会員用ページ、例会・総会開催記録医療機関のご案内を更新、2022年度診療報酬改定説明会資料等を掲載しました。会員の皆様はアクセスされ、ご活用下さい。

11. 学術委員会、ミニレクチャーについて（錦見理事、丸山（高）理事）

第29回 総会（共催：ヤンセンファーマ、日本新薬）

令和4年6月18日（土）

医会 一般演題

きむら泌尿器科腎臓内科クリニック 理事長 木村 恭祐先生

本山泌尿器科 ゆうクリニック 院長 伊藤 裕一先生

イブニングセミナー（担当：名古屋大学）

『下部尿路症状に対する治療のupdate』

三重大学 腎泌尿器外科 教授 井上 貴博先生

座長：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院泌尿器科部長 錦見 俊徳先生

第76回 例会（共催：杏林製薬） 令和4年10月15日（土）

ミニレクチャー（担当：名古屋市立大学）

講演内容：糖尿病に関する内容

講師：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 田中 智洋先生

特別講演（担当：愛知医科大学）

未定

第77回 例会（共催：武田薬品工業）令和5年2月18日（土）予定

ミニレクチャー（担当：藤田医科大学）

未定

特別講演（担当：名古屋市立大学）

未定

12. 保険教育プログラムについて（岡村理事）

特にありません。

13. 会則等検討委員会（小島理事）

特にありません。

14. 名古屋市前立腺がん検診（遠山理事）

更新事項はありません。

15. 日本臨床泌尿器科医会（服部会長）

日本臨床泌尿器科医会が中心となり日本泌尿器科学会と共同で令和4年の保険改正の要望にて前立腺生検2（その他のもの）が1400点から1540点に増点されました。

また、ハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道的）9930点が新設されました。

第18回 日本臨床泌尿器科医会 臨床検討会

令和4年11月27日 東京で開催予定

16. 今後の予定

理事会	令和4年10月 1日	（土）	愛知県医師会館
-----	------------	-----	---------

第76回例会	令和4年10月15日	（土）	場所未定
--------	------------	-----	------

理事会	令和5年 2月 4日	（土）	愛知県医師会館
-----	------------	-----	---------

第77回例会	令和5年 2月18日	（土）	場所未定
--------	------------	-----	------

17. その他

勤務医会費改正について

（会費問題ワーキンググループ 会長、両副会長、錦見 俊徳先生、小島 宗門先生、4大学理事、関連病院『丸山高広先生、丸山哲史先生、青木重之先生』）

（1）現在持ち上がっている問題は

1. 勤務医部長の1万円は高い

2. 勤務医の入会が少ない

について検討を行いました。

1については、一部の勤務医の先生から現状でもよいとの意見もありましたが、概ね下げた方がよいとの意見でした。

他の医会会費調査でも勤務医の年会費は一律同じでした。

2については、勤務医部長の年会費を下げれば勤務医部長の入会人数が増えることと医会共催企業が増える可能性がある。

以上より勤務医の年会費は一律2,000円とすることでよい。

医会での年間の固定費については、分科会負担金とホームページの費用などが徐々に増加しており、直近では140万円かかります。医会収入は、会員年会費110万円～120万円と2年に1回の会員名簿作成時の20万円程度が主な収入になります。勤務医部長の年会費を下げることで医会収入が15-20万円の減収になります。医会収入を維持するために、開業医会員の年会費を2000円値上げし約20万円補うための協力をお願いしてはいかがでしょうか。

現状

開業医	A 会員	96	(うち未納 2)	94万円	
勤務医	A 会員	16	(うち未納 2)	14万円	
勤務医	B 会員	43	(うち未納 10)	6万6千円	合計114万6千円

A案 勤務医一律2千円として 開業医の1万円は据え置き

開業医	94	1万円	94万円	
勤務医	47+ α	2千円	9万4千円+ α	合計103万4千円+ α

B案 さらに開業医の年会費を2千円増額するとして

開業医	94	1万2千円	112万8千円	
勤務医	47+ α	2千円	9万4千円+ α	合計122万2千円+ α

(2) 以上の案件とは別に施設会員を作り会費増収を考慮してはどうかという意見もあったため検討いたしました

施設会員を新設した場合施設会員の

1. 議決権
2. 施設会員となる条件
3. 権限の明確化

を細則に付け加え、会員内での十分な理解を得る必要があること
施設会員の費用を負担しない病院の不公平問題等もあり
現時点で会則変更を含めるにはまだ難しいとの結論に達しました。

文責：副会長 榊原 敏文